

緩和ケアは地域が主役！

みんなでつくろう、病院と地域の垣根のない文化

治療・療養の主体は、入院ではなく外来・地域へと移行しており、今や、緩和ケアも地域が主役です。そのため、患者さんの医療・生活を支え、QOLの向上に貢献することをめざすには、地域の皆さんとの連携を有効に行っていく必要があります。地域の皆さんは日頃、病院と患者さんについての情報共有や連携が十分出来ていると感じられているでしょうか。私たちは、病院と地域が垣根なく対話しながら、患者さんについて一緒に考えていきたいと思っています。しかし、日常の忙しさの中では対話など出来ないことが現状です。だからこそ、今回の緩和ケア地域カンファレンスを通じて、互いに気兼ねなく対話し、明日の緩和ケアを一緒に考えていきませんか？

日時

令和元年**11月23日(土)** **14:00~17:00**
(13:30~受付)

場所

大阪市立総合医療センター さくらホール

対象

がん患者さんに関わる仕事をされている方
(医療・介護・医療福祉・医療福祉機器メーカー関係者等)

参加費

無料 (ただし、茶菓子代として、各自500円のご負担を願います。)

申込

参加申込 **10月31日(木)** 必着



事例募集！



今回は、地域からの事例を募集し、事例検討会を行います！

募集内容

対応困難だった事例を振り返りながら、ディスカッションをしてみたい事例について、簡単に経過とディスカッションのポイントを記載し、応募してください。
(がん・非がん問いません)

困難事例、例えば…

「本人は今後も自宅で過ごしたいと思っているのに家族は入院させたい。どうにかできる？」
「なぜ本人の意向を確認せず、家族がすべて意思決定しているだろう、このままで良い？」
「この患者さん、どこまで治療を続けるのだろう、そして、これからどうするんだろう…」
「この患者さん、こんな状況で家に帰ってくるんですか…」 等々

応募先

こんな事例どうかな？と思われましたら、メールもしくはMCSIにて、
緩和ケアセンター 三品までご連絡ください。
(メールアドレス：y-mishina@osakacity-hp.or.jp)

事例締め切り **8月30日(金)** 必着

事例の採用につきましては、内容をこちらで拝見させて頂いた上で、検討しお返事いたします。

主催 大阪市立総合医療センター

事務局 〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22 電話:06-6929-1221 FAX:06-6929-0886

担当 医事課(患者相談担当) 鈴木・森脇